

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日機装株式会社  
コード番号 6376 URL <http://www.nikkiso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 西脇 章

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-3443-3711

平成21年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	33,599	△10.0	1,889	△29.3	2,231	△13.4	945	△0.2
21年3月期第2四半期	37,312	—	2,673	—	2,576	—	947	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	15.10	—
21年3月期第2四半期	14.69	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	115,657		39,151		33.1	611.23	
21年3月期	83,687		36,721		43.3	578.72	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 38,275百万円 21年3月期 36,242百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,500	8.4	4,500	△5.7	4,300	3.3	2,100	53.6	33.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	72,611,464株	21年3月期	72,611,464株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,991,848株	21年3月期	9,986,018株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	62,623,743株	21年3月期第2四半期	64,473,724株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間は、世界同時不況の影響が残る厳しい事業環境が続いており、受注高は30,804百万円（対前年同期比18.1%減）、売上高は33,599百万円（同10.0%減）、営業利益は1,889百万円（同29.3%減）、経常利益は2,231百万円（同13.4%減）、四半期純利益は945百万円（同0.2%減）となりましたが、期初に開示しております予想値に対しては売上高はほぼ達成、収益では上回る事ができました。

なお、平成21年8月13日に取得したLEWA社グループのそれ以降の業績は当下半期から連結対象として合算する予定です。

## (1) 売上高

期初予想したとおり顧客業界の設備投資を抑制する動きは顕著となり、また、円高持続の影響により、売上高は33,599百万円になりました。

## (2) 営業利益

厳しい事業環境が続く中、コスト低減を推進して採算確保に努め、営業利益は1,889百万円となりました。

## (3) 経常利益

ポンプ事業関連の合弁会社の一部で業績が好調に推移したことにより、経常利益は2,231百万円となりました。

## (4) 四半期純利益

LEWA社グループの買収に関連した諸費用842百万円を特別損失に計上し、四半期純利益は945百万円となりました。

## 〔事業の種類別セグメントの状況〕

## 《工業部門》

## ＜ポンプ事業本部＞

当第2四半期累計期間は、主要顧客である石油、石油化学、液化天然ガス業界の東南アジア向けで一部に明るい兆しが見えつつありますが、国内の投資は依然として冷え込んでおり、また、メンテナンス費用を抑制する動きも顕著で、受注高は6,079百万円（対前年同期比43.0%減）、売上高は8,556百万円（同22.2%減）となりました。

## ＜I S O L事業本部＞

当第2四半期累計期間は、電力各社の水質調整装置の新規投資は低調であり、また、電子部品製造装置の関連業界は、生産量の改善の兆しが見えてきたものの、依然として厳しい状況は続いております。粒度分布測定装置の事業環境も厳しい状況ですが、東南アジア向けの売上が伸びるなど一部に回復の兆しがあります。この結果、受注高は3,461百万円（対前年同期比32.6%減）、売上高は3,510百万円（同24.2%減）となりました。

## ＜航空宇宙事業本部＞

当第2四半期累計期間は、航空機業界に波及した世界同時不況の影響から、顧客からの減産や納期先送りの要請が繰り返され、また、円高が持続していることなどから、受注高は1,711百万円（対前年同期比28.6%減）、売上高は1,711百万円（同28.6%減）となりました。

## 《医療部門》

## ＜メディカル事業本部＞

当第2四半期累計期間は、透析業務の効率化・省力化を実現する機能を付加した人工透析装置の販売が好調で、また、PEPA膜ダイアライザー、血液回路、および粉末型透析用剤等の透析関連消耗品についても、透析患者の増加により順調に売上を伸ばしており、受注高は19,552百万円（対前年

同期比0.8%増)、売上高は19,820百万円(同2.8%増)となりました。

[ 所在地別セグメントの状況 ]

<日本>

国内は、メディカル事業本部の業績が順調に推移する一方、工業部門の業績は一部の業界で景気回復の兆しが見え始めているものの期初予想したとおりの世界同時不況の影響が依然と残り、売上高は29,925百万円(対前年同期比9.2%減)、営業利益は2,732百万円(同28.0%減)となりました。

<アジア>

アジア地域では、メディカル関連の中国の販売子会社の業績が順調に伸び、また、ベトナム並びにタイの製造子会社の業績が順調に推移しており、売上高は4,143百万円(対前年同期比0.7%減)、営業利益は525百万円(同146.0%増)となりました。

<北アメリカ>

北アメリカ地域では、ポンプ関連の子会社並びに粉体関連の子会社とも不況の影響を受けて、売上高は1,445百万円(対前年同期比17.4%減)、営業利益は33百万円(同81.6%減)となりました。

<ヨーロッパ>

ヨーロッパ地域では、ポンプ関連の子会社の事業を持分法適用の合弁会社に譲渡する一方で、メディカル関連の子会社の業績が第1四半期では順調な回復を見せていたものの第2四半期の業績が低下し、売上高は3,297百万円(対前年同期比22.7%減)、営業損失は103百万円(前年同期は営業損失153百万円)となりました。

(注) 1. 所在地別セグメントの売上高は、当社グループ内取引において生じた売上高(総額5,213百万円)を含んでおります。

2. 所在地別セグメントの営業利益は、当社グループ内取引において生じた利益額(総額1,298百万円)を含んでおります。

[ 研究開発の状況 ]

当社グループのモノづくりを支える研究開発の拠点として、平成21年7月に100%出資子会社の「株式会社日機装技術研究所」を設立いたしました。当研究所では、中長期にわたる製品、技術、未来に繋がる基礎技術の研究、生産技術の刷新などを通じて、更なる技術革新に取り組んでまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は115,657百万円となり、前連結会計年度末に比べて31,969百万円増加しています。平成21年8月13日付けで取得したドイツのLEWA社グループの資産・負債などを連結対象として合算したことが主因で、同取得によるのれん25,679百万円を計上しています。

当第2四半期末の負債合計は76,505百万円となり、前連結会計年度末に比べて29,539百万円増加しています。LEWA社グループ買収資金の一部を銀行借入で対応し、長期借入金が増加しています。

当第2四半期末の純資産合計は39,151百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,429百万円増加しています。株価の回復に伴い、その他有価証券評価差額金が増加しています。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想については、世界的不況の影響、円高動向が依然不透明であり全般的に厳しい経営環境が続くと見ております。一方で第2四半期に入り、東南アジア向け等の受注に回復の兆しが見えており、当下半期については、期初予想レベルの業績を見込んでおります。また、平成21年8月13日に取得したLEWA社グループのそれ以降の業績を連結対象として当下半期から合算することになります。

この結果、現時点では平成21年5月7日に発表した当期（通期）の予想数値を修正して、次のとおり予想しております。

平成22年3月期（通期）連結業績予想				
売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	当期純利益 （百万円）	1株当たり当期 純利益（円）
78,500	4,500	4,300	2,100	33.54

(注) 上記の予想数値は、現時点における入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後の様々な要因により、上記の予想数値と異なる結果となる場合があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、平成21年8月13日付けで、当社の連結子会社であるドイツのNikkiso Pumps Europe GmbHを通じて、ドイツのLEWA Management GmbHの出資持分100%を取得しました。これに伴い、同社及び同社子会社21社を連結の範囲に含めております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 2 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 3 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度に係る年間償却見積額を期間按分する方法によっております。

##### 4 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

##### 5 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,047	10,248
受取手形及び売掛金	25,811	25,274
商品及び製品	4,988	4,770
仕掛品	4,070	3,038
原材料及び貯蔵品	6,566	6,388
繰延税金資産	1,520	1,036
未収還付法人税等	0	1,073
その他	1,793	1,253
貸倒引当金	△461	△393
流動資産合計	54,336	52,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,052	10,146
機械装置及び運搬具(純額)	3,277	3,359
土地	4,194	3,635
リース資産(純額)	192	212
建設仮勘定	253	170
その他(純額)	1,922	1,511
有形固定資産合計	20,893	19,035
無形固定資産		
のれん	26,250	688
特許権	1,106	99
電話加入権	43	43
リース資産	118	141
その他	977	753
無形固定資産合計	28,497	1,727
投資その他の資産		
投資有価証券	9,512	7,818
長期貸付金	17	20
繰延税金資産	381	377
破産更生債権等	21	22
前払年金費用	1,050	1,035
その他	967	978
貸倒引当金	△20	△17
投資その他の資産合計	11,929	10,234
固定資産合計	61,320	30,997
資産合計	115,657	83,687

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,316	10,145
短期借入金	7,970	6,579
1年内返済予定の長期借入金	11,322	2,091
リース債務	125	129
未払金	1,595	1,789
未払消費税等	144	90
未払法人税等	612	258
未払費用	2,155	589
賞与引当金	1,378	1,492
役員賞与引当金	26	60
設備関係支払手形	1	18
その他	2,326	1,412
流動負債合計	37,974	24,657
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	30,408	15,080
リース債務	191	229
繰延税金負債	1,405	718
退職給付引当金	474	215
役員退職慰労引当金	38	51
長期預り保証金	12	12
固定負債合計	38,531	22,308
負債合計	76,505	46,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,094	6,094
資本剰余金	10,265	10,265
利益剰余金	30,041	29,471
自己株式	△8,278	△8,274
株主資本合計	38,123	37,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,117	98
為替換算調整勘定	△965	△1,412
評価・換算差額等合計	152	△1,314
少数株主持分	876	479
純資産合計	39,151	36,721
負債純資産合計	115,657	83,687

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	37,312	33,599
売上原価	25,939	23,843
売上総利益	11,372	9,755
販売費及び一般管理費	8,698	7,865
営業利益	2,673	1,889
営業外収益		
受取利息	36	31
受取配当金	161	146
持分法による投資利益	41	133
受取地代家賃	78	77
為替差益	—	3
その他	190	236
営業外収益合計	509	629
営業外費用		
支払利息	314	275
為替差損	220	—
その他	71	11
営業外費用合計	606	287
経常利益	2,576	2,231
特別利益		
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産除却損	132	87
固定資産売却損	5	0
投資有価証券評価損	645	—
たな卸資産評価損	69	—
ゴルフ会員権評価損	24	—
事業買収関連費用	—	842
特別損失合計	877	930
税金等調整前四半期純利益	1,701	1,306
法人税等	734	290
少数株主利益	19	69
四半期純利益	947	945

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,701	1,306
減価償却費	1,493	1,393
有形固定資産除却損	132	87
有形固定資産売却損益(△は益)	2	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	645	—
ゴルフ会員権評価損	24	—
のれん償却額	125	158
持分法による投資損益(△は益)	△41	△133
貸倒引当金の増減額(△は減少)	84	51
前払年金費用の増減額(△は増加)	△125	△14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△139	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△152	△115
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△37	△34
受取利息及び受取配当金	△198	△178
支払利息	314	275
為替差損益(△は益)	202	12
売上債権の増減額(△は増加)	1,932	2,499
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,322	792
仕入債務の増減額(△は減少)	△132	△1,322
未払消費税等の増減額(△は減少)	69	54
その他	△669	79
小計	3,937	4,901
利息及び配当金の受取額	214	259
利息の支払額	△325	△282
法人税等の支払額	△1,667	△294
法人税等の還付額	—	1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,159	5,714

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△93	△248
定期預金の払戻による収入	67	77
有形固定資産の取得による支出	△2,231	△1,175
有形固定資産の売却による収入	28	19
その他の無形固定資産の取得による支出	—	△225
投資有価証券の取得による支出	△937	△0
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	2	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△22,573
短期貸付けによる支出	△6	△3
短期貸付金の回収による収入	16	5
長期貸付けによる支出	△8	△0
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,162	△24,124
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	10,106	25,109
短期借入金の返済による支出	△8,291	△23,756
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△67
長期借入れによる収入	69	18,000
長期借入金の返済による支出	△816	△1,057
自己株式の取得による支出	△557	△4
配当金の支払額	△387	△375
少数株主への配当金の支払額	—	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	122	17,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△267	183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,147	△390
現金及び現金同等物の期首残高	10,565	9,830
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,417	9,452

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,025	19,286	37,312	—	37,312
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,025	19,286	37,312	—	37,312
営業利益	2,124	1,876	4,000	(1,326)	2,673

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,778	19,820	33,599	—	33,599
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,778	19,820	33,599	—	33,599
営業利益	1,068	2,317	3,386	(1,497)	1,889

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(工業部門)

<ポンプ事業本部>

制御容量ポンプ、キャンドモータポンプ、低温用サブマージドポンプ、コンプレッサ、  
自吸式スラリーポンプ、プランジャ式ハイパワーポンプ、薬液注入装置・システム、  
プロセス送液装置・システム

<I S O L 事業本部>

火力・原子力向試料採取装置、薬液注入装置、復水検塩装置、水質分析計、  
プロセス制御システム、工場排水処理装置、粒度分布測定装置、ゼータ電位測定装置、  
インライン粉体プロセス粒度測定装置、粉体ラボ用自動化システム、比表面積測定装置、  
冷間等方圧プレス、温水ラミネータ、ドライラミネータ、Itabar 流量計、  
産業用除湿機(ドライヤー)、アイソ・ボンダー

<航空宇宙事業本部>

炭素繊維強化樹脂(CFRP)成形品、マテライトコンポジット

(医療部門)

<メディカル事業本部>

人工腎臓装置、透析用消耗品、透析用剤、人工膀胱、輸液ポンプ、透析排水 pH 処理装置、  
医療機器ポンプ、血液浄化用装置他

3 当第2四半期連結累計期間において、LEWA Management GmbH の出資持分を取得し、同社及び同社の子会社を新たに連結子会社といたしました。これにより、工業部門における資産の金額が 36,018 百万円増加しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,865	2,176	1,010	4,259	37,312	—	37,312
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,097	1,996	739	7	5,840	(5,840)	—
計	32,962	4,173	1,750	4,267	43,153	(5,840)	37,312
営業利益又は営業損失(△)	3,793	213	181	△153	4,034	(1,361)	2,673

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	27,583	2,031	687	3,296	33,599	—	33,599
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,342	2,112	758	0	5,213	(5,213)	—
計	29,925	4,143	1,445	3,297	38,812	(5,213)	33,599
営業利益又は営業損失(△)	2,732	525	33	△103	3,187	(1,298)	1,889

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム  
 (2)北アメリカ : アメリカ  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,636	2,827	5,546	904	15,915
II 連結売上高(百万円)					37,312
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.8	7.6	14.9	2.4	42.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、韓国、サウジアラビア他 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ、ノルウェー、ベルギー他 (4)その他の地域 : チリ、ブラジル他

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,948	2,059	4,589	796	12,394
II 連結売上高(百万円)					33,599
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.7	6.1	13.7	2.4	36.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、インド、韓国他 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ、ベルギー、ノルウェー他 (4)その他の地域 : オーストラリア他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。